

バッハの学校岡山 秋の特別講座

カンタービレ奏法の探求

— 歌うトッカータ、輝くクラヴィコード、優美なバロックダンス —

17世紀にトッカータの最高傑作として世に提示されたフレスコバルディ・トッカータ。トッカータ序文の中に楽譜をどう読み解いてカンタービレ奏法にするか、そのすべてが作曲家によって描かれています。序文と楽譜を照らし合わせ、バッハにまで通じるこの「技法」の解説を行います。

カンタービレ在るところに不可欠なクラヴィコードの打鍵とロングトーン。

また17・18世紀に音楽家が嗜むべき素養であったダンス—バロックダンス—その基礎が集約されたステップ—メヌエット・ブレ—の演習を行います。(記. 白井雅美)



講座内容

第1日：2018年(平成30年)10月4日(木)

9:30 ~ 12:00 クラヴィコード奏法

13:00 ~ 14:00 カンタービレ奏法・フレスコバルディのトッカータ解説

14:10 ~ 15:10 チェルニー『ピアノ奏法』ピアノの打鍵とロングトーン

15:30 ~ 17:30 バロックダンス演習 メヌエット

第2日：2018年(平成30年)10月5日(金)

9:30 ~ 12:00 クラヴィコード奏法

13:00 ~ 15:00 バロックダンス演習 メヌエット・ブレ

講師

白井雅美

会場

日本福音ルーテル岡山教会
(〒700-0806 岡山市北区広瀬町3-13)

参加費

参加を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください

お申し込み締め切り

2018年(平成30年)9月13日(木)

お問い合わせ・お申し込み先

scholabachen.okayama@gmail.com